

※グループの場合は、筆頭者(リーダー)の氏名、所属、当該企業もしくは学校区分及び所在地を記載して下さい。

ユースケース	<p><b>⑦つの該当するユースケースに☑を入れて下さい。</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/>①生産現場における課題を解決するためのツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>②工場や企業の外と情報をやり取りする際の課題を解決するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>③事務における課題解決ツール</p> <p><input type="checkbox"/>④グローバル化にともない海外で展開する為に役立つツール</p> <p><input type="checkbox"/>⑤自社製品をIoT化するためのツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑥データの活用全般に関わるツール</p> <p><input type="checkbox"/>⑦人材育成の観点で活用できるツール</p>				
	ツール名	リアルタイム製造IoTコアシステム			
候補者	(フリガナ)ヒライ ナオヒロ	他 名	企業名/学校名	(フリガナ) アブリシステムズ	
	平井 直弘		団体名/個人名	株式会社アブリシステムズ	
企業区分	<input type="checkbox"/> 大企業	所在地	(都道府県) 北海道	開発形態	<input checked="" type="checkbox"/> 既存のモノを利用
	<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業			<input type="checkbox"/> 新規開発	
	<input type="checkbox"/> 学生			開発費用	<input checked="" type="checkbox"/> 分からない
	<input type="checkbox"/> その他 ( )			<input type="checkbox"/> 円	

## ツールのPRポイント

◎ツールの概要(どんなお悩みを解決できるものか) ※250字以内

リアルタイム製造IoTコアシステムは、生産管理、SCM、装置管理、着工支援の製造システム群で構成されます。システム導入はコアシステム一式導入の他、既存のシステムと連携して個別システムのみ導入や、お客様のニーズによるカスタマイズが可能です。製造業において受注管理ではお客様への納期が明確に分かり、生産管理において、生産数、納期、着工支援を全て一元管理するため、問題解決が容易に出来る。設備管理に置いては、装置のセンサーの情報を取り入れて設備管理を行い保安全管理が容易に出来ます。

◎導入容易性やコストパフォーマンス ※500字以内 (いくらで導入できるか、どれぐらいのこういった効果が期待できるか)

既に生産管理システムを導入されている場合が多いと想定し、既存のシステムを活かしながら、追加したいシステム(SCM、装置管理、着工支援)のみ追加し、コストを抑えることが出来る。生産管理システムが導入されている場合は、生産管理データ取り込み用のハードウェア機器の導入がほぼ不要になるため、Windowsサーバーと表示用PCを導入するのみで、ハードウェア導入コストが大幅に削減できる。ソフトウェア開発費は、既存の生産管理システムからのデータ取り込み部分のソフトウェア改造費とお客様のニーズによるカスタマイズ部分の改造費になるため、概算で設備数にもよるが1工程でのソフト開発費は、装置管理、着工支援システム導入で、約60~200万円が可能である。

## ◎導入波及性や有効性、安全性 ※900字以内 (横展開の可能性や、セキュリティへの考慮等)

製造業の管理システムは、会社独自のシステムが多く、機能追加をしようとした場合、そもそもが機能追加を前提としていないシステムだったり、実現してもシステムの巨大化、高コスト化につながり、機能追加は容易ではない。弊社のシステムでは、独立したシステムに機能を分散させて、既存システムと連携させることで、その後の機能追加による容易性、コスト面を安くすることが可能である。装置がIoT対応でない場合でも、生産情報を活用して擬似的に装置状態を表示すること出来るため、先にシステムを導入し、あとから、装置をIoT化することも可能です。本システムを導入した会社間での連携により、容易にSCMを実現し、少量多品種での生産において、強力な営業ツールとして使える。

## ◎使用方法 取扱説明書 ※500字以内

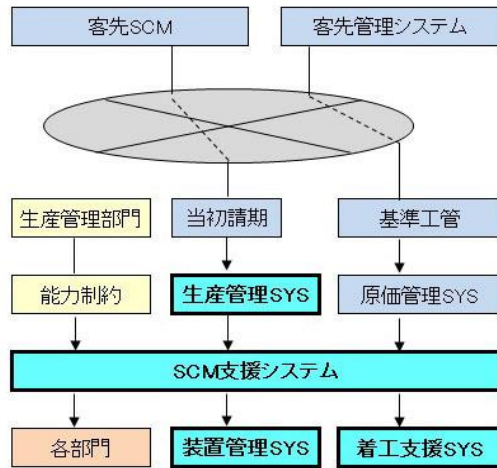
各システムには、装置、次工具登録などの取扱説明書は付属するが、通常使用する装置管理、着工支援画面では、使いやすいインターフェースを備えており、直感的に操作が可能のため、システム概要説明書1枚で全容の把握が可能です。

## 記載事項チェック欄

印刷時に枠内に文字が収まっているか。

(様式2)「案件の自由記述及び、概要図・写真」

◎自由記述 ※1500字以内 導入事例・実績、導入支援体制(有れば)等記載、その他概要図、写真の貼付も可 ※4点



※太枠内が、リアルタイム製造IoTコアシステムのシステム群

図1. システム構成例

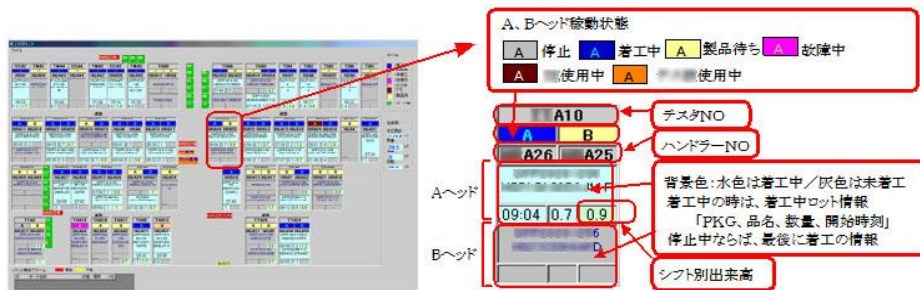


図2. 装置管理システム例



図3. 着工支援システム例

記載事項チェック欄

- 印刷時に枠内に文字が収まっているか。  図など貼付の際、文字などが潰れていないか。

■第1回 中堅・中小製造業者向けIoTツール募集イベント 書類  
(様式4)「追加情報」

ツール名 ※40文字以内

リアルタイムSCM製造IOTコアシステム

ひとことPRコメント(15文字以内)

製造ラインを一目で把握できます。

参考Webページ(URL)

<http://aplsys.co.jp/agison.html>

(様式5)「問合せ先情報」

問合せ先情報

企業名 組織名	株式会社アプリシステムズ
住所	〒040-0001 北海道函館市五稜郭町1番14号 五稜郭114ビル
電話番号	0138-54-6511
メール	<a href="mailto:sales@aplsys.co.jp">sales@aplsys.co.jp</a>
ホームページ	<a href="http://aplsys.co.jp/">http://aplsys.co.jp/</a>
担当者名	平井 (ふりがな ひらい )